



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社

コード番号 2108 URL <http://www.nitten.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小笠原 昭男

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 小島 洋司

TEL 03-6414-5522

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	42,173	1.0	106	△89.7	242	△80.8	49	△92.8
24年3月期第3四半期	41,759	△5.8	1,029	△49.0	1,263	△38.7	684	△37.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 285百万円 (208.4%) 24年3月期第3四半期 92百万円 (△87.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	0.34	—
24年3月期第3四半期	4.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第3四半期	84,748	54,268	64.0	377.71
24年3月期	77,366	54,663	70.7	381.07

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 54,268百万円 24年3月期 54,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	—	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	57,400	0.1	1,200	△37.5	1,300	△38.3	700	△41.1	4.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

※詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

※詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	153,256,428 株	24年3月期	153,256,428 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	9,578,970 株	24年3月期	9,809,208 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	143,559,395 株	24年3月期3Q	143,481,396 株
----------	---------------	----------	---------------

(注)自己株式には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)の所有する当社株式が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や各種政策効果を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、世界的な景気減速感の強まりを受け国内景気は弱い動きとなり、先行きは依然不透明な状況にあります。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好や長引くデフレ傾向を背景に、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などから砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比1.0%増の42,173百万円となりましたが、砂糖事業の大幅な減益を受け、経常利益は前年同期比80.8%減の242百万円、四半期純利益は前年同期比92.8%減の49百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

砂糖セグメントの売上高は、ビート原料糖の販売量が増加したことにより、前年同期比1.2%増の30,159百万円となりましたが、販売価格の下落と平成24年産原料甜菜が著しい低糖分となったことによるビート糖製造コストの上昇を受け、871百万円のセグメント損失(前年同期は294百万円のセグメント利益)となりました。

<食品事業>

食品セグメントの売上高は前年同期比7.0%減の1,808百万円となり、77百万円のセグメント損失(前年同期は106百万円のセグメント損失)となりました。

<飼料事業>

飼料セグメントの売上高は前年同期比2.3%増の5,991百万円となり、セグメント利益は前年同期比51.8%増の247百万円となりました。

<農業資材事業>

農業資材セグメントの売上高は前年同期比3.2%増の2,123百万円となり、セグメント利益は131百万円(前年同期は11百万円のセグメント損失)となりました。

<不動産事業>

不動産セグメントの売上高はほぼ前年同期並の956百万円となり、セグメント利益は前年同期比4.5%増の617百万円となりました。

<その他>

その他のセグメントの売上高はほぼ前年同期並の1,134百万円となり、セグメント利益は前年同期比15.9%減の126百万円となりました。

(注) セグメント利益または損失は、営業利益または損失であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比7,382百万円増の84,748百万円で、このうち流動資産は、主にたな卸資産の増加により前連結会計年度末比7,454百万円増の51,103百万円となり、固定資産は、前連結会計年度末比71百万円減の33,645百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比7,777百万円増の30,479百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の増加により前連結会計年度末比7,874百万円増の22,700百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末比96百万円減の7,779百万円となりました。

純資産は、主に配当金の支払により利益剰余金が減少したため、前連結会計年度末比395百万円減の54,268百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年産原料甜菜が、秋の登熟期における気象が記録的な高温で推移したこと、さらには収穫期の天候不順も重なり、低糖分低品質の原料となったことから、大幅な製造コストの上昇を余儀なくされ、平成24年11月13日に公表いたしました平成25年3月期の連結・個別業績予想につきまして、次のとおり修正いたします。

平成25年3月期 通期連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	57,400	1,700	1,800	950	6.62
今回修正予想(B)	57,400	1,200	1,300	700	4.88
増減額(B-A)	—	△500	△500	△250	—
増減率(%)	—	△29.4	△27.8	△26.3	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	57,365	1,920	2,108	1,188	8.28

<参考>

平成25年3月期 通期個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,300	1,250	1,300	650	4.53
今回修正予想(B)	55,300	950	1,000	500	3.48
増減額(B-A)	—	△300	△300	△150	—
増減率(%)	—	△24.0	△23.1	△23.1	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	54,711	1,602	1,653	890	6.21

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)及び流動負債(その他)として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,237	3,073
受取手形及び売掛金	7,050	4,971
有価証券	7,000	8,000
商品及び製品	19,347	17,152
仕掛品	3,480	3,166
原材料及び貯蔵品	2,464	9,623
その他	1,070	5,115
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	43,649	51,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,343	11,151
その他(純額)	11,678	11,430
有形固定資産合計	23,021	22,582
無形固定資産		
	431	369
投資その他の資産		
投資有価証券	9,805	10,255
その他	463	445
貸倒引当金	△5	△7
投資その他の資産合計	10,264	10,693
固定資産合計	33,716	33,645
資産合計	77,366	84,748
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,192	3,248
短期借入金	7,996	11,297
未払法人税等	651	72
その他	4,985	8,081
流動負債合計	14,826	22,700
固定負債		
長期借入金	310	312
退職給付引当金	3,798	3,890
役員退職慰労引当金	10	14
その他	3,756	3,561
固定負債合計	7,875	7,779
負債合計	22,702	30,479

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,404	8,404
利益剰余金	38,869	38,187
自己株式	△2,113	△2,063
株主資本合計	53,439	52,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,222	1,458
繰延ヘッジ損益	1	2
その他の包括利益累計額合計	1,224	1,460
純資産合計	54,663	54,268
負債純資産合計	77,366	84,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	41,759	42,173
売上原価	31,099	32,407
売上総利益	10,659	9,766
販売費及び一般管理費		
販売費	7,656	7,615
一般管理費	1,973	2,044
販売費及び一般管理費合計	9,630	9,660
営業利益	1,029	106
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	251	228
持分法による投資利益	108	18
その他	48	52
営業外収益合計	422	314
営業外費用		
支払利息	95	86
固定資産処分損	55	52
その他	37	38
営業外費用合計	188	177
経常利益	1,263	242
特別利益		
固定資産売却益	2	11
その他	0	0
特別利益合計	2	12
特別損失		
固定資産処分損	35	103
投資有価証券評価損	3	17
その他	3	0
特別損失合計	41	120
税金等調整前四半期純利益	1,224	134
法人税等	540	85
少数株主損益調整前四半期純利益	684	49
四半期純利益	684	49

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	684	49
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△590	236
繰延ヘッジ損益	△1	0
その他の包括利益合計	△591	236
四半期包括利益	92	285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92	285
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	29,806	1,943	5,857	2,057	959	40,624	1,135	41,759
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	21	—	4	58	85	5,280	5,366
計	29,807	1,965	5,857	2,061	1,017	40,710	6,415	47,125
セグメント利益 又は損失(△)	294	△106	162	△11	590	931	150	1,081

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	931
「その他」の区分の利益	150
セグメント間取引消去	△51
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,029

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	30,159	1,808	5,991	2,123	956	41,038	1,134	42,173
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	23	—	2	64	92	5,616	5,709
計	30,160	1,832	5,991	2,125	1,021	41,131	6,751	47,882
セグメント利益 又は損失(△)	△871	△77	247	131	617	48	126	174

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	48
「その他」の区分の利益	126
セグメント間取引消去	△69
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	106

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。